

くらす？はたらく SESSION3 都会？田舎 2017年12月9日(土)13:00～16:00 学生数 63 名

時間	項目	動き			備考
		司会	ゲスト	学生	
12:30	受付開始			・名札、お茶を受け取り、自由に着席。 ・名札には、学科、学年、ニックネーム、どこで暮らす、働くか、今思うものを記載。	
13:00	オリエンテーション	小野先生 ・荷物置き場の説明 ・トイレの説明 ・写真撮影の説明	・後方テーブルで待機		4つのテーブル上は模造紙、付箋、マジック、お菓子
	開会挨拶	角濱先生 ・COCの説明 女子キャリアの説明 ・セミナーのシリーズの説明			
13:07		小山内氏へ交替 ・自己紹介 ・流れ説明			
13:10	アイスブレイク	方法説明	①誕生日チェーン: 言葉を使わずに誕生日順に並ぶ(3分) →並び終わったら、誕生日を言っていく →ABCDEFGHIJKLMNにグループ分け ②自己紹介: 名前(ニックネーム)、出身地、好きな食べ物、都会口田舎の4点について記入。(1分) グループ内で、髪の毛の長い人から時計回りでそれぞれ自己紹介(3分) →代表して、2人(女子、男子)に自己紹介した内容の発表		
13:30	第一部トークセッション	説明 ・小山内氏から、ライフプラン・ライフイベントの説明、日本の女性の働き方の現状、GGI(男女格差の順位付け)、昭和の標準的人生、一世帯当たりの所得、女性の高学歴化、共働き世代の増加、少子化、働き方改革、男性の家事・育児への参画促進、等の説明 →「自分らしい生き方・働き方とは？」を参加者に考えさせる。(13:43)		各テーブルに座って話を聞く	
13:44	ゲスト紹介	・小山内氏から参加者へ、グラフが見える所まで、椅子を持って移動してOKという指示有り	1人ずつ、ライフデザイングラフや一日の過ごし方について話す		
			黒田亜樹さんのトーク ○自己紹介 ・東北女子大学の卒業生 ・千葉県の小学校へ就職 ・同期の方と結婚した ・小学校教員になるという夢は、高校の頃から考えていて、大学で決心した。 ○ライフデザイングラフの説明 ・32歳で出産した ・職場までの距離は約20kmで、バスと電車を乗り継ぎ、1時間半かかる。 ○一日の過ごし方(小学校の担任時) ・7:45には職場に着いて、子ども達の対応をする。 ・お昼も給食指導があるので、ゆっくり休めない。 ・16:00～会議、17:00～保護者対応など、18:00～学級事務、19:00で退勤(遅い時は20:30頃になる)、20:00～旦那さんと待ち合わせして、外食。		

13:35			佐藤由理さんのトーク ○自己紹介 ・弘前学院大学の卒業生 ・札幌の大学と、弘前学院大学の2校を卒業した。 ・医療法人芙蓉会 村上病院(青森市)へ就職 ○ライフデザイングラフ ・札幌市で、若い女性看護師がホームレスを助けたのを目撃した。 ・24歳で看護大学に入学のため弘前へ ・社会人一年目:地元のため、仕事で辛いことがあっても家族や友人に支えられている。 ○一日の過ごし方について ・日中は仕事 ・勤務先は車で15分程度の場所にあり、帰宅後は、実家のためゆっくり過ごすことができる。		
			平山恵さん ○自己紹介 ・青森県立保健大学の卒業生 ・弘前大学附属病院で働く管理栄養士 ○ライフデザイングラフ ・大学卒業後、2年間東京都青梅市で働き、25歳の時に弘前へ戻ってきた。 ○一日の過ごし方 ・通勤にかかる時間は、徒歩で15分 ・平日は、8:30～17:00までの勤務となっているが、実際は19:00や20:00に退勤することがしばしばある。		
			二本柳美里さん ○自己紹介 ・ホスピタリティーアカデミー(現:弘前医療福祉大学)の卒業生 ・弘前市内の病院で作業療法士として勤務している ○ライフデザイン ・病院のリハビリで働きたいという気持ちから、専門学校へ入学。外科手術をした患者さんのリハビリを主に担当。25歳で結婚、30歳で長女を出産。この間の5年間で勉強する時間がとれ、キャリアアップができた。31歳で次女出産。出産後1年ほどで復職し、子育てと仕事の忙しい毎日を過ごしている。 ・今のところ、青森以外へ行くことは考えていない。 ○一日の過ごし方 ・5時起床、6時に娘を起こす、家事、8時までに出勤。定時は17:00で、その後残業や勉強会の後、19時まで に保育園へ迎えに行く。帰宅後は、家事育児で3時間忙しく過ごし、自分の時間はない。忙しく、自分の時間や趣味の時間をとることはできないが、子どもが可愛く、幸せな人生と感じている。		
14:12		小山内氏からゲスト4名へ自分は都会□田舎になんと書いたか質問	ゲストはパネル前の椅子に座った状態 ・黒田さん「都会♡田舎」 →どちらも好き ・佐藤さん「都会＝田舎」 →どちらも経験したが、どちらも住みやすい。 ・平山さん「都会<田舎」 →東京で給食業務をしていた時よりも、今の方が充実している。 ・二本柳さん「都会<田舎」 →自分にとっては子どもが1番優先すべき存在 夫の親も自分の親も、近くにいるから。		
14:15		3分で質問を付箋に書き込むよう指示	パネル前の椅子に座った状態	・各自付箋に書く	
	休憩	質問したいパネルの下に付箋を張るよう指示		・各自付箋を貼る	

14:25		・追加で質問をしながら引き出す	黒田さんへ ・都会と田舎の給料の違いは？ →2～3万基本給違い、千葉は5%くらい地域手当がつく。 ・青森と千葉のギャップは？ →言葉のなまりをとるのが大変だった。ギャップについて、当初電車に乗れなかった。電車で行きたい場所 にたどり着かない。 ・一人暮らしは寂しくなかったか？ →休みの日も学校で仕事をしていたので、あまり寂しくなかった。 ・今回も子どもを預けられなかったらどうする？ →3歳まで育児休業の延長が可能になったので、落ちた場合は、その制度を利用する。 ・旦那との育児分担は？ →分担したり、ルンバ等の家事を助ける家電を使用している。	
			佐藤さんへ ・大学を入り直したことで、苦労したことは？ →文系から理系に行ったため、レポートの書き方や思考法の違いで最初は大変だった。 ・大学二つ行くことに親は賛成した？二つ分の学費はどうした？ →一つ目は親が用意してくれていたし、ふたつめの大学も親は応援してくれた。学費については、奨学金で大きな額を借りた ・国家試験の勉強はどうやった？ →2週間で、10年分の過去問をひたすら解いた。 ・もし都会で働くなら良さは何だと思うか？ →青森と埼玉では、埼玉の初任給が5万円くらい高かった。遊ぶ場所も多いので、若いうちに経験した方が良いと思う。 ・都会で働くことは考えていますか？ →将来的に転勤のある方と結婚しても、どこでもついていける強みがある。	
		Q自己管理能力が大事になる？ Qどの点で一番充実している？	平山さんへ ・東京で働いてきたときの休日の過ごし方と大変だったことは？ →日帰りで神奈川や千葉に友達と遊びに行っていた、言葉のなまりをなおすこと ・仕事を決める時に、決め手となった事は？（東京） →医療現場の「給食業務」を勉強したいと思って決めた。東京に限定して探した訳では無い。 ・東京に比べて青森が遅れていることは？ →交通の便 ・結婚のタイミングを31歳にしているのはなぜ？ →現在28歳で、来年の結婚は厳しいと思うので、もう少し安定した31歳という目標を立てている。 ・東京に戻りたいと思うことはある？ →学会などに参加しやすいと思うし、遊びやすいとも思うが、今現在戻りたいという気持ちは無い。	
			二本柳さん ・何を決め手に結婚した？ →次の彼女と結婚しようと漠然と思っていた、今の夫と付き合って1年で結婚した。 ・田舎での子育てのメリットとデメリットは？ →保育園は入り易い。親が近くにいること、その辺で遊ばせていても安心（治安が良い）なのもメリット。デメリットは、遊びに行く場所が少ない、進学先が少ない。 ・旦那さんと家事の分担はしていますか？ →分担している。夫は家事育児に積極的 ・仕事のやりがいとは？ →人の最後の瞬間に立ち会える、「あなたにリハビリやってもらえて良かった」と言われた時が、仕事へのモチベーションになっている。 ・一度も県外へ行きたいと思わなかったのですか？ →県外に遊びに行くことはできるし、実家に住んでいると家事をやってもらえるというメリットがあるため、特に県外へ行きたいとは思わなかった。	
14:50		第2部の説明 ・ゲストを交えて ・後ほどシャッフルするので、好きなテーブルでOK		

14:54	第二部	ワールドカフェの説明 ・席替えをしながら、全部で3ラウンド行う ・各テーブルに1人、テーブルホストを残す ・問いに集中し、積極的に参加する。考えは短く、簡潔に述べる。相手の話に耳を傾け、会話を楽しむ。 ・タイムマネジメントは、「手上げ方式」で、会話を中断する。	・ゲストも各テーブルに着席		
14:55	第一ラウンド(15分) トークセッションの感想・気づきを語り合う テーマ:「都会」と「田舎」	テーマの説明、残るホストを決めてもらう。ホストは学生。 楽しみながら考えてみる。付箋に、テーマに関する日本の現状やゲストトークセッションの話から、気が付いたこと、思ったことを付箋に書き、それについて10分ほど話し合う。	ゲスト、学生一緒になって、模造紙に付箋を自由に貼る。 ・付箋の内容:給料の差、田舎の交通の便をよくするべき、夢と仕事の両立、田舎は人と人とのつながりが親密になりそう、等		
15:09		ホストを残し、他のメンバーは移動。なるべく違うメンバーと一緒によう説明			
15:11	第二ラウンド(10分) テーマ:あなたが将来生活していきたい場所は、田舎と都会、どちらですか？またその理由は何？	・ホストが新メンバーに先ほどの話し合いの内容を説明するよう指示 ・ラウンドの時間を、15分から10分に変更するよう指示	ホストは、模造紙の付箋をもとに説明する 自己紹介し話し合いをスタート		
15:17		テーブルを回り引き出ししながら、出た言葉を書くよう促す	・付箋の内容:家族たちがいる田舎、就職は都会が良いけど子育ては田舎が良い、都会は地域手当がある、都会の方が遊んだりする面では便利、都会農法が交通の便が良い 等		
15:23		ホストを残し、他のメンバーは移動。なるべく違うメンバーと一緒によう説明			
15:25	第三ラウンド(10分) テーマ:10年後の生活にどのような価値を置いて生活したいですか？	シャッフルの指示 ホストが新メンバーに先ほどの話し合いの内容を説明するよう指示	ホストは、模造紙の付箋をもとに説明する 自己紹介し話し合いをスタート		
15:30		テーブルを回り引き出ししながら、出た言葉を書くよう促す	・付箋の内容:経験、お金、目標、自分を高めるための目標、苦手なことにも向き合う、色々な経験をして土台を作っておく、仕事と家庭の両立、中途半端にやらない、楽しんでやる 等		
15:35		・最後は今のメンバーで発表する。発表準備10分。 ・ポスカも使いながら、模造紙をまとめる。			
15:36	全体シェア	・2つのグループが発表	グループ1:①待機児童の問題、産休・育休について、②都会で働きたい理由は、1人暮らしがしたい、都会でくじけない自信がある、経験を積んだ後に田舎へ戻りたい、親元から離れたたい 等 ③(看護職のため)仕事の安定と充実、10年後までに結婚と出産が目標、楽しいことをしていきたい 等 グループ2:①都会のデメリットは、人が多い、信号で止まらない(マナーが悪い)、②都会に住むと、お墓を守る人がいなくなる、③安定(自分のしたい仕事と家庭の両立)した生活がしたい		
15:43	ふりかえり	・なりたい自分になるために、今、何をしておくべきだろうかについて、A4紙に一言で表現する(1分)			

15:45		グループの中で、ひとことを紹介する(3分)	ひとことの内容:勉強、たくさんの経験、多くの人とかかわる、人とかかわりを大切にする、まじめに講義を受ける、生きる力を身につける、勉強と遊び、責任のある行動、学びに続ける学生、自らを生み出す 好きを極める 等	
15:50	全体シェア	代表して、3人に発表するよう指示	人間関係を大切に:いろいろな人と関わることで将来を考えることができるから 経験と勉強:春からの就職に向けて、大学で勉強したことと、これまでの経験を合わせて春から頑張っていきたい 好きを極める:好きなことであれば、辛くても頑張れる。好きなことは、コミュニケーションツールにもなるので、好きなことを極めたい。	
15:53		ゲストに今日の感想	黒田さん:皆さんが考えているキャリアに私の経験が少しでも役立てば嬉しい。私も10年後に向けて頑張ります。 佐藤さん:私は都会＝田舎と書いた。皆さんの、「都会□田舎」の□に何が入るのか、そこを考えるにあたり、今日の経験を活かしてもらえると嬉しい。 平山さん:これからの生活やキャリアアップのきっかけにして欲しい。自分は卒業してからも大学に世話になったので、自分の大学を大切にすると良いと思う。 二本柳さん:最近の若い方は田舎志向の方多いのかなと思って嬉しくなった。今後、皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしている。	
15:55		全員で拍手	会場から退出	
15:57	小野先生	・アンケートの促し ・イベントの紹介 (チラシ配布) ・バスの出発時間案内 (16:30)		